

## 地对協コーナー

平成26年5月19日(月)、平成25年度の県地对協の監事会を開催し、一般・特別会計収支決算について正確妥当であるとの承認をいただきました。今後も、よりわかりやすく正確な手続きと資料作成に努めたいと存じます。詳細につきましては、平成26年度の県地对協常任・定例理事会にて正式に報告させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本号は3月24日(月)に開催の広島県地域保健対策協議会定例理事会の報告事項であった「平成25年度各種委員会の事業実施状況」について、各委員会委員長や担当理事らの発言要旨をお知らせするとともに、4月に開催された委員会報告をお知らせします。

なお、広島県地域保健対策協議会定例理事会の様子は広島県医師会速報4月15日号の10頁から掲載していることを申し添えます。

県地对協活動へのご意見ご要望などがあれば、事務局までお寄せください。過去の委員会活動などは、地对協ホームページ(<http://www.citaiky.jp/>)へ掲載していますので、アクセスしてみてください。

○広島県地域保健対策協議会 第2回定例理事会  
日 時：平成26年3月24日(月) 19時30分  
場 所：広島医師会館3階 健康教室  
報告事項：平成25年度各種委員会の事業実施状況について

### 医師不足対策専門委員会

【河野 修典委員長】

広島県と広島県地域保健医療推進機構から広島県の現状報告があり、自治医科大学卒業医師及びふるさと卒医学生の状況など、委員間で共通認識を持った上で今後の取り組みについて協議した。

最大の課題は、広島県に勤務する若手医師の数が減少していることである。さまざまな要因が考えられるが、一つ一つ課題を整理した上で対応していきたい。

### 救急・災害医療体制検討専門委員会

【山田 博康担当理事】

集団災害医療救護訓練は、平成25年11月9日(土)、厚生連尾道総合病院に担当いただき、中国地区DMAT連絡協議会実働訓練との合同で実施した。

また、平成24年10月28日に広島県庁・広島市役所で実施した集団災害医療救護訓練を踏まえ「地域ブロック体制」について協議した。地域ブロック体制の整備には医師・病院のみならず市町行政の協力が不可欠であることから、現在広島県が各圏域に説明と協力要請を行っている。さらに、今年度は島根原子力発電所災害時における避難患者の受入れ体制についても検討を行った。本県では県行政が要請をとりまとめ、

前述の地域ブロックを応用する形で受入れのコーディネートを行う形を検討している。

### 医療体制検討専門委員会

【小林 正夫委員長】

地域の休日夜間診療所に携わる地区医師会の担当理事や行政関係者より、各二次医療圏での救急あるいは時間外の対応について、多くの問題点を提案いただいた。周産期医療、小児科、産婦人科が中心であったが、現在は内科、さらに最近では外科系疾患も同様に救急対応が難しくなっている現状であった。各種の課題解決に向けて、次年度は論点整理をした上で、地域間での連携のあり方を検討していく。

### 特定健診受診率向上専門委員会

【木原 康樹委員長】

8月末に平松会長をはじめ、広島県医師会並びに広島県の行政担当者、それから広島、呉、福山、大竹、廿日市、安芸、安佐、佐伯地区の医師会長あるいは副会長と市町の課長ら総勢27名にお集まりいただいた。

当日は、広島県の現状と全国における特定健診の成果などについて情報の共有化を図った。後の意見交換では、受診率の低迷を踏まえ、全員が力を合わせて前向きに取り組んでいくことを確認した。

また、実務者WGを立ち上げ、県内主要市町の先進的な取り組み状況を26年度事業に反映できるように検討した。

各種の取り組みが功を奏し、受診率最下位脱出につながればと思うが、厳しい現状であることに変わりはない。特定健診の位置づけや、あ

るいはインセンティブのあり方なども十分注意しながら対応していきたい。

### 医薬品の適正使用検討特別委員会

【木平 健治委員長】

地域包括ケアシステムにおける服薬管理の現状を把握し、薬局薬剤師のあり方を検討するためアンケート調査を実施した。その結果、薬局の役割として医療・介護関係職種から求められることはさまざまあるが、まだ薬局側のアピールが不足している現状が伺えた。薬剤師会としても、薬局が地域貢献できる体制づくりに向けた取組が必要と考える。

また平成26年2月14日に講演会を開催し、岩手県立高田病院理事の石木幹人先生より、震災後の地域医療・介護の再構築や医療と介護の連携体制などについて体験談をご講演いただいた。

### 精神疾患専門委員会

【小笠原 英敬担当理事】

精神疾患領域の課題に関する現状把握と方策の検討を行うため、今年度は児童・思春期精神医療と認知症医療についてワーキンググループを設置して、調査、検討などを行った。

児童・思春期精神医療検討ワーキンググループでは、県下の精神科医及び精神科医療機関を対象としたアンケート調査を実施した。

児童思春期精神医療に関する医療資源の掘り起こしが重要であると考えられ、今後は、人材育成の観点から研修制度の中への組み込みやロールモデルの提示、機能分担の観点から近接領域との連携のあり方の検討を行っていく方針である。

認知症医療検討ワーキンググループでは、昨今、認知症患者の精神科病院への入院が多くなっている現状から、認知症疾患医療センターを対象に調査を実施する予定である。

調査から浮かび上がった現状と課題を整理の上、一般の医療機関を対象に調査や行政へ提言すべき点などについて検討を行っていく方針である。

### がん対策専門委員会

【有田 健一担当理事】

広島県行政は、がん登録部会、検診部会、患者支援部会などを設置し検討しているが、医療に関する問題は本委員会で検討している。

今年度は、がん診療連携拠点病院の指定にあたり、各種の施設基準について協議した。

また、広島がんネットやわたしの手帳などの普及啓発についても検討した。5大がんの医療連携がある程度整ったことから、希少がんについても検討し、まずは甲状腺がん、前立腺がんについても医療連携の体制整備を目指した。

### 終末期医療のあり方検討特別委員会

【有田 健一担当理事】

患者さんの希望や思いを医療に何らかの形で反映する一つの方法として、患者さんに終末期に限らず、元気なときから自分の医療に対する希望や思いをわかりつけ医と話をさせていただく手段、アドバンス・ケア・プランニングの手引きを作成した。

次年度は、手引きの普及啓発を図るため、モデル事業を展開したい。

先に開催の常任理事会では、アドバンス・ケア・プランニングを日本語に置き換えできないのかとご質問をいただいたが、適切な日本語が見当たらないため、まずはこの表記とした。

### 肝疾患医療連携推進専門委員会

【山田 博康担当理事】

広島県が運用している広島県肝疾患患者フォローアップシステムの課題について検討した。

また、肝炎ウイルス検査の正確な受検者数を把握するため、肝炎ウイルス検査カードやチラシを作成し、肝疾患診療連携拠点病院や肝炎ウイルス検査受託医療機関、県、市町などに配付した。C型肝炎治療に新たに3剤併用療法が導入されたことから、C型肝炎クリティカルパス「わたしの手帳」を改訂した。その他の取組として、広島県肝疾患診療支援ネットワークの専門医療機関の追加を承認した。

### 健康危機管理対策専門委員会

【桑原 正雄委員長】

新たに設置の広島県感染症・疾病管理センターについて、その機能や情報伝達のあり方などについて検討した。各市町の症候群サーベイランスや学校欠席者情報収集システムの現状確認を行った。

広島県から、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、業務計画や事業継続計画などについて協議し、本委員会で様式を示すこととした。

## ○前立腺がんクリニカルパス検討WG

日 時：平成26年4月3日(木) 19時00分

場 所：広島医師会館6階 第1会議室

委員長：松原 昭郎

5大がんの医療連携体制が整備されたことから、甲状腺がん及び前立腺がんの医療ネットワークの構築、地域連携パスの作成についてWGを設置し検討している。前立腺がんのパス作成について、たたき台を基に意見交換した。

## 協議事項

## (1) 県内共通パスの作成について

前回WGでの意見を踏まえ、広島市立安佐市民病院で使用されている「全摘除術後経過観察」

をパスの基本とし、連携先医療機関での確認項目はPSA値と排尿症状のみとすることとした。また、前立腺がんの再発は腫瘍マーカーである程度判断が可能なため、経過観察の目標はPSA値が0.2ng/ml未満とする。

かかりつけ医での定期受診は3ヵ月とし、1年に1度は治療した医療機関での経過観察を行っていただく仕様とする。

また、3ヵ月ごとに検査したPSA値を診療情報提供書でかかりつけ医から提供いただき、連携に係る加算が算定できるように対応する。

今後は、内分泌治療と放射線治療に関するパスの作成も検討することとした。

## 予 告

## 第67回広島医学会総会開催のお知らせ



平成26年度の広島医学会総会は、広島大学医師会 平川勝洋会長を学会長として、平成26年11月9日(日)広島医師会館にて開催いたします。

特別講演(県民公開講座)・シンポジウムや、日本医師会生涯教育カリキュラムに基づいた実地医家のための教育講座などを企画しています。

また、一般演題(ポスター発表)・ビデオ演題も募集いたします。

プログラムが決まり次第、本誌にてご案内いたしますので、ふるってご参加くださいますようお願いいたします。

広島県医師会学術課

TEL：082-232-7211

E-mail：gaku@hiroshima.med.or.jp

## 予防接種法に基づく予防接種に関するリーフレットについて

今般、厚生労働省により標記リーフレットが作成されましたので、お知らせいたします。

なお、本リーフレットは下記の厚生労働省及び公益財団法人予防接種リサーチセンターホームページに掲載されておりますので、ダウンロードの上、普及啓発などにご活用下さい。

## &lt;厚生労働省ホームページ&gt;

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleza/kekkaku-kansenshou20/index.html#hid0](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleza/kekkaku-kansenshou20/index.html#hid0)

## &lt;公益財団法人予防接種リサーチセンターホームページ&gt;

[http://www.yoboseshu-rc.com/topics.php?id=1&schemas=type010\\_1\\_1&topics=63#id63](http://www.yoboseshu-rc.com/topics.php?id=1&schemas=type010_1_1&topics=63#id63)

